

第10回 通常総会を開催

改選で木方会長を再選

新任理事は6名

1. 日 時 2020年7月30日(木) 午後2時から4時
2. 場 所
(メイン会場) 新大阪ワシントンホテルプラザ 2階 紅梅の間
大阪市淀川区西中島5丁目5番15号
(サブ会場) 東京事務所 (東京都中央区日本橋3-13-5 油脂工業会館 会議室)
(個人参加) 店又は自宅
3. 社 員 数 110名(7月30日現在)
4. 出席者数 出席33名 委任状76名 欠席1名 合計110名
5. 議 長 仲西隆義
6. 議事録署名人 西田博之、乾隆司
7. 議 事 経 過
 - (1) 司会の福田吉美氏は、はじめに相澤法制部長始め、この1年間に亡くなられた会員の方々のご冥福をお祈りするため黙祷を要請した。次に、本日の総会の定足数について、定款第18条の規程により、出席予定者数33名中33名出席、委任状76名で合計109名となり、本総会が適法に成立することを報告し、開会した。
 - (2) 議事に先立ち、木方会長が開会の挨拶を述べた。

「本日は岐阜からリモート参加となります。当協会にご尽力をいただきました相澤さんが5月に急逝され、本当にびっくりしました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。先ごろからずっと水害が続き、特に熊本の木本さんが被害にあわれたとお聞きしています。岐阜やその他の地区でも被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。コロナウイルスの感染拡大により遅れていましたが、本日総会を開くことができました。こういった事情のときにはなるべく短くすることが肝心です。後から質問等があればお答えいたします。最後に一言だけ申し上げますが、本日は変化のある状況の中で対応をして頂き、大阪の福田総務部長及び本部事務局の皆様には素早い対応をしていただきありがとうございます。」
 - (3) 司会の福田吉美氏は、議長の選出について諮ったところ司会者一任の声があり、仲西隆義代議員を指名し、賛成を求めたところ、全員の拍手をもって決定した。
 - (4) 仲西隆義代議員は、議長席に着き議長就任の挨拶の後、議事録署名人の選任について本職よりの指名をもって決定したいと諮ったところ、異議なしの声あり、大阪府支部の西田博之、乾隆司の両氏を指名し両氏は承諾した。

仲西隆義議長は、第1号議案及び第2号議案双方関連があるため、一括して議題にしたいと諮り、異議なしの声で一括審議に入った。

【審議事項】

第1号議案 2019年度事業報告承認の件

福田吉美総務部長は、総会資料3頁から6頁に記載している第1号議案の2019年度事業報告、会議の開催状況、各部の事業活動及び会員数等を詳細に読み上げて説明した。

第2号議案 2019年度収支決算承認の件

平岩幸一財務部長は、総会資料7頁から16頁に記載している第2号議案の2019年度収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表等について詳細に説明した。

仲西隆義議長は、ここで監査報告を要請した。

監事を代表して岡野雄次氏から6月4日に行った監査の結果について、いずれも正確かつ適正に執行されていると報告した。

仲西隆義議長は、第1号議案、第2号議案について質疑を求めたところ次の通り質疑が行われた。

(質問) 事業報告の最後の会員数については、会員数の増減は本協会の核となるので一番最初にできないか。

(回答) 次回より変更を検討する。

(質問) 第2号議案の収支計算書ほかの表の単位の円がまちまちで統一できていない。

(回答) 表の右上に単位(円)と統一する。

仲西隆義議長は他に質問、意見がないことを確認し第1号議案及び第2号議案について承認を求め、全員の拍手で承認された。

仲西隆義議長は、第3号議案及び第4号議案双方関連があるため、一括して議題にしたいと諮り、異議なしの声で一括審議に入った。

第3号議案 2020年度事業計画承認の件

福田吉美総務部長は、総会資料18頁から22頁に記載している2020年度事業計画について詳細に説明した。

第4号議案 2020年度収支予算承認の件

平岩幸一財務部長は、総会資料23頁から27頁に記載している2020年度収支予算について詳細に説明した。

仲西隆義議長は、第3号議案、第4号議案について質疑を求めたところ次の通り質疑が行われた。

(質問) 予算で、退職給与引当金が計上されていないが。

(回答) 昨年度は事務局長の退職があり、今回は予定がないため計上していない。

(意見) 組織強化と支部活動支援事業、ブロック会議も今後Web会議を検討してはどうか。
(昨年はコロナウイルスの関係で3ブロック会議が中止)

(回答) 今後は参考にして考えていきたい。

仲西隆義議長は他に質問、意見がないことを確認し、第3号議案、第4号議案について承認を求め、全員の拍手で承認された。

第5号議案 理事・監事選任の件

仲西隆義議長は、選挙管理委員会により、予め書面による投票が行われ7月28日に開票を行ったと報告し、選挙管理委員会による投開票結果について報告を要請した。

・理事・監事開票結果表の一部訂正 豊福映吉(とよふくえいきち)→(とよふくあきよし)

選挙管理委員会を代表し、坪内登選挙管理委員から、次の通り報告があった。

①社員総数(2020年7月1日現在)	110名
②投票総数	96名
③有効投票数	96名
④無効投票数	0名

理事候補者25名、監事候補者2名について、候補者ごとに賛成・反対・白票を集計した結果、配付資料に記載の通りであり、全候補者について過半数の賛成票を獲得して選任されたことを報告。

仲西隆義議長は、選挙管理委員会の報告に対して質疑を求めたが、特に質問・意見がなく、第5号議案は承認された。

【報告事項】

(1) 教育部報告

内田豪教育部長は、今年度の生涯教育について7月からの座学、一部講習会を中止し、代替案として通信講座での受講をしていただくと説明。また、SS級試験について、3年間で全科目の合格が必要だが今年に限り再受験者に対してもう1年間猶予する。

なお、生涯教育の9月以降の講習会開催については、本部から現在開催を予定している支部に生涯教育開催の自粛を要請する。

(質問) 千葉県支部は12月に生涯教育を予定しているが、今年度中は中止するのか。

(回答) 中止していただきたい。

(質問) 埼玉県支部は9月17日に予定している。

(回答) 十分感染拡大防止事項を遵守のうえ実施、通信教育への振替で検討してほしい。キャンセル料などは本部で負担する。

(要望) 通信教育も素晴らしいシステムだが、今後の講習会中止なども考慮しぜひWeb講習会を検討してほしい

(2) 広報部報告

杉本佳菜子広報部長は、リーフレットの修正版を増刷製作すると説明した。会報の配布に

ついて、従来は理事・支部長・代議員など160名程度だがコミュニケーションツールとして全会員に送付する。なお総会が7月に延期となったため、8月発行となる。支部PR活動補助金については今年度も実施するとし、詳細について説明した。

・当日資料の訂正 試験問題作成委員会→試験問題作成委員会準備会

(3) 眼鏡技術者国家資格推進機構報告

眼鏡技術者国家資格推進機構の代表幹事の岡本理事は、今後の予定について、リハーサルの試験、模擬の受験者で東京眼鏡専門学校にて実施を予定している。試験機関として日本眼鏡技術者協会が指名されるための準備作業を開始したと説明した。コロナ問題の影響で3～4ヶ月ほど作業が遅れたが、2021年9～10月に省令改正が実現できるよう努力していると報告があった。

仲西隆義議長は、出席者の協力を謝し、議長席を退席。司会者福田吉美氏は第10回通常総会の閉会を宣言した。

上記の通り、公益社団法人日本眼鏡技術者協会第10回通常総会の経過を記載した内容は事実と相違ないことを証します。

2020年7月30日

公益社団法人日本眼鏡技術者協会

会 長 木 方 伸 一 郎

第10回通常総会

議 長 仲 西 隆 義

議事録署名人 西 田 博 之

議事録署名人 乾 隆 司